



## 「QR Translator」の導入で多言語表記を充実

～外国人旅客の利便性向上をめざし、公共交通施設で初のモデルプロジェクトを開始～

近年、訪日外国人旅客が増加の一途を遂げており、2014年(暦年)に関西国際空港を利用した外国人旅客数は過去最高の630万人(速報値)を記録しました。

多言語での情報提供のニーズがますます高まる中、関西空港ではQRコードを利用し、施設内表示等を最大15言語で翻訳表示するサービス「QR Translator」を導入しました。公共交通施設としては、初のモデルプロジェクトとなります。

空港を挙げて取り組んでいるCS(お客様満足)向上プロジェクト「Smile Airport!」の一環として、更なる利便性向上をめざしてまいります。

- 実施期間 2015年1月20日(火)より開始
- 設置箇所 約100カ所(1月20日現在。順次拡大)
- 設置用途  
空港施設や観光案内、商品やサービスの説明、コインロッカーやシャワールーム等の無人施設の使用説明に活用します。
- 使用言語  
日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、ベトナム語、アラビア語、  
インドネシア語、マレー語 (1月20日現在。一部未対応。順次拡大)

詳細は株式会社PIJINの別紙資料をご覧ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

※QR Translatorは株式会社PIJINの登録商標です。



▶ About KIX, Travel, and more...

Scan to get the info in your own language.



## 関西国際空港が多言語表記のモデルプロジェクトを開始

～外国人利用者向けに QR Translator を活用～

2014年（暦年）の訪日外国人利用者が過去最高（※対前年比136%）を更新した関西国際空港では、増え続ける多国籍の利用者への利便性を強化する為、QRコード\*を利用して施設内表示等を最大で15言語に対応させるモデル的な取組みをスタートした。

これは、施設内各所に配置した多言語対応のQRコードを利用者に読み取ってもらう事で、本人が持っているスマートフォンやタブレットの言語、つまり母国語で施設内の飲食店情報や周辺地域の観光情報などが取得出来るようにする仕組みである。

対応させる言語数は最大15言語で、従来の方法では掲載スペースの問題で不可能だった。無理に詰め込んでしまうと文字が見えづらくなったり、パンフレットの種類が増えてかさばるなどの問題点が発生してしまう。それを解決するのがQR Translatorの仕組みで、ひとつのQRコードを掲載するだけで多言語への対応が可能になった。

関西国際空港では、従来より、案内表示やパンフレット、ウェブサイト等で日本語、英語、中国語簡体字・繁体字、韓国語での表記は行っていたが、近年のASEAN諸国等からのお客様の急増を踏まえ、他の言語にも幅広くこのQRコードで対応していく。

訪日外国人には常に不満の上位に挙げられている「外国語での情報提供不足」を解決することで、関西国際空港では、増加する外国人利用者の利便性向上に貢献する狙い。同空港ではすでに施設内がフリーwifiへも対応しているため、訪日客が自国から持ってきたスマートフォンやタブレットでもローミングを気にせず利用できる環境にある。さらに、スキャンしたQRコードは自国に持ち帰ってからもアクセスが可能で、旅の思い出を後日SNS等でシェアしてくれることにも期待が広がる。まずは施設内案内や観光掲示板、お土産物店内での商品紹介などに利用を進めていく予定で、開始時点では100ヵ所程度コード設置を行っている。

関西国際空港内でのQR Translatorの利用方法をモデル化して、今後、世界中の空港にもフォーマット輸出の形で導入を働きかける。QR Translatorの仕組みは日本で生まれ日本企業が特許を持つサービスで、世界中に導入が広まれば、日本発の世界標準として、世界の言語バリアフリー化が実現することになる。

# QR Translator

## QR Translator® について



QR Translator で発行された QR コードは、スキャンすると、ユーザーが所有するタブレットやスマートフォンなど携帯端末の言語設定を読み取って、自動的にその翻訳文を表示させます。

また、ユーザーは、その都度専用のアプリをインストールする必要がなく、世界的に普及している様々なタイプの QR コードリーダーのいずれかを持っていれば、コードの読取りが可能です。



### 【QR Translator の特徴】

- 文書翻訳が可能な QR コードを簡単に発行出来る世界で初めての Web サービス。
- コード発行までのプロセスがわずか 1 分で完了し、看板や印刷物に貼付してすぐに使用可能。
- 既存の看板等を設置し直す必要が無く、掲載スペースも大幅に節約。
- 翻訳者とデザイナーの作業を分離して進められる環境を世界規模で提供。
- 翻訳はクラウド機能を用い、機械翻訳であれば即時、人による翻訳でもコード発行から数時間後に反映。
- 翻訳文章は後から編集（テキスト変更、画像追加など）可能で、その都度 QR コードを貼り替える必要なし。

# QR Translator

【日本国特許 4918174 号】（成立済）

【国際特許出願番号：PCT/JP2012/058854】

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

※ QR Translator は株式会社 PIJIN の登録商標です。

情報照会先；

株式会社 PIJIN / 電子メール promotion@qrtranslator.com

Tel. 06-6210-2398（大阪）担当：松本・高岡 / 03-6262-1480（東京）担当：竹内・高岡

## ■QR Translator 運営企業

株式会社 PIJIN （代表取締役 高岡 謙二）

世界有数の訪日外国人向けのポータルサイト、[japan-guide.com](http://japan-guide.com) の運営や多言語 WEB サイトの企画・コンサルティングを行っているエクスポート・ジャパン株式会社を中心に、翻訳や多言語ソリューションに専門性を持つ会社が複数参加して運営。

## ■株式会社 PIJIN の株主構成

エクスポート・ジャパン株式会社、三井物産株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル 1 号投資事業有限責任組合、スタートアップ支援ファンド katana - 1 号、株式会社高電社販売、国際化 JP 株式会社、当社役員、他